



那覇市立教育研究所

研究所だより



那覇市金城 3-5-3
Tel 917-3441 Fax 857-8681
naha-c@naha-c.nahaken.okn.ed.jp
所長 田中 浩三



「つながり」を意識した学習活動を！

所長 田中 浩三

現学習指導要領は、「学んで得た知識・技能」などを活用して「思考力・判断力・表現力等を育む」という二つの「つながり」を重視した学習活動の方向性を示した。そのことにより、「つながり」を意識した学習活動が様々な場面で相乗的に展開されている。それは、「獲得と活用」のつながり以外に、「系統的内容のつながり」や「教科間の横断的つながり」、あるいは「家庭や地域とのつながり」等、「つながり」をキーワードとして、そのよさを活かす教育活動の広がりを見せていている。

そこで、紙面の都合上、「獲得と活用」を中心に具体的な「つながり」を各学校の実践等を参考に述べてみたい。

まず導入場面では、既習と未習とのつながりを工夫し、確実な課題把握につなげることがきわめて重要である。そのためには、教師が系統的な内容を中心に既習とのつながりを十分把握し、提示を工夫する必要がある。もし、系統的な内容理解が不十分と考えるなら、宿題等との連携を図り、既習事項を充分把握させ、導入へつなげることも必要である。既習事項等を基にして見通しのある課題把握ができることが、スマートな課題追求へつながっていく。

次に、話し合い活動へつなげるためには、まず自分なりの課題解決をさせることが大切である。そのことにより、「自分の解決策はこれでいいのか」「正しいのかどうか知りたい」等の意識が芽生え、他と「検討する」ことや「話し合う」ことの必要性を感じるからである。その時、話し合いは多様な視点から自分の考え方を見つめたり修正したりすることに有効であることを子どもにも理解させておきたい。

さりに、「獲得と活用」という視点からみた各教科間のつながりは大変重要である。なぜなら、「獲得と活用」による課題解決がどの教科でも繰り返し確実に実践されることにより、物事の解決には自ら思考・判断し、表現することが大切だという思いや習慣化が図られるからである。

結びに、「つながり」を意識した教育活動は、教師のみでなく、子ども自身も意識化することにより、本当の意味でのつながりを意識した学習活動が展開されるのではないかと考えている。

県到達度調査
分析説明会

【中学校 国語】5月20日



名嘉ゆり子校長



【中学校 数学】5月22日



山城良嗣校長



【中学校 英語】5月17日



比嘉俊博校長

- 細かい分析だけでなく授業の提案もあって良かった。
- 単元を貫く言語活動について自分も学ばなければと思った。
- 定着していなければ回復指導を行い、再テストする事の重要性がわかった。

- 教師が意図的に授業改善を図ることが大事だと思った。頑張りたい。
- 書く活動の重要性、子ども達に考えさせる授業の取組、授業とリンクした宿題の与え方など、非常にためになった。

- 学校では基礎基本を中心にしがちだが、「活用問題」を通して習得と活用をしながら進めることが大切と知った。
- 苦手な問い合わせに対する今後の手立てについて具体的に説明があり、勉強になった。

【中学校 社会】5月22日



【中学校 社会】5月22日



金城 聰校長



【中学校 理科】5月20日



松本 哲校長

- よいアドバイスが多く、勉強になった。社会を好きな子を増やす！
- 生徒が主体的に興味を持って学習できるようどんどん授業を工夫していく。
- 授業アイディア例がとても良かった。実践していくと思う。



喜瀬乘英部長



城間幹子教育長

- 日々の授業がいかに大切かわかった。
- 教科書や具体的な実践例（改善策）も説明して頂いたので、わかりやすかった。
- 話し合い活動を取り入れた授業づくりの大切さを実感しました。

- 正答率の低い問題は生徒自身が図や表を書いて考える場面を授業で取り入れる必要があると強く感じた。これが科学的に考える能力につながると思う。
- 分析を活用して、基礎十応用問題へ取り組みたいと思う。



教育研究員 所内講座
6/10(月)

コミュニケーションスキル講座

行動がイメージしにくい言葉のなかで、絶対的思考の言葉を子どもに言っているのに気がつきました。何をしていいかわからないような言葉かけや否定的な言葉かけを意識して減らしていきたいと思いました。「言葉を変えられたら、感情は変わる」の言葉を実践してみます。(大城)

今日の講座で習ったような安心して人と関わるためにヒントを、子ども達にも伝えていこうと思いました。

自分自身も元気よく、子ども達も明るく生活できるように、人の関わり方・心のもち方を学んでいきたいと思います。(喜屋武)

セルフコインシス沖縄
吉田文子先生第100期 研究員 中間検討会①
5/30・31

自分なりに参考文献や先行研究に目を通して考えたつもりでしたが、モラルスキルに気持ちが動いたり、研究テーマがこれでいいか搖れたりと繰り返しながら今回の発表を迎えるました。今回、いろいろな助言を頂けてとても参考になり、これから進む方向が見えた気がしました。



大城 真弓



下地 智子

まだまだ私自身の迷いが研究の方向性に影響を与えることを感じました。文章の表現の仕方や自分の考えを理論と結びつけて考えることが難しく、なかなか書くことに表せず焦りを感じます。ものごとを客観的に捉えていくことに気をつけながら取り組んでいきたいと考えています。

「理科における思考力・判断力・表現力」を、文献を調べて、自分なりにまとめたのですが、まだわかりにくい(伝わらない)ことがわかりました。やはり、研究仲間や指導主事からの指摘がとても大切だと思いました。今日指摘されたことを直し、自分できちんと整理していきたいです。



富山 仁志

研究の方法・手段はみえてきましたが、それを実際に児童にどうさせていくか、具体的な「ノートの書かせ方」の手立てを明確にする必要性を感じました。

今回の検討会で指摘されたことをふり返り、明確な手立てをもち授業を構成し、検証される手立ての場を指導案に盛り込んでいきたいと思います。



喜屋武直人

又吉めぐみ
指導主事

第3回 初任者研修

5月 16日(木)、先輩教師の示範授業の参観を通して、道徳の授業づくりや指導の在り方について研究会が行われました。

*ご指導ありがとうございました。
城東小 比嘉君代 教諭 安岡中 平良裕樹 教諭
天妃小 仲村恵子 教諭 小祿中 砂川龍馬 教諭
金城小 佐久本康登 教諭



第3回 教職10年経験者研修

6月 13日(木)、道徳Gによる代表授業が行われ、ワークショップを通して授業改善について研究会が行われました。

垣花小 新城 淳 教諭 真和志中 下地 昌之 教諭
城西小 徳元 朋子 教諭



今月のお勧め

『参加型園内研修のすすめ—学び合いの「場づくり」—』
秋田喜代美、松山益代 ぎょうせい 2011

先生一人ひとりがイキイキする保育所、幼稚園、こども園で取り入れたい職員研修の方法をテーマ別に紹介！(中略)
今までの研修でありがちだった問題が解消され(中略)明日の保育へ具体的につなげていく研修のスタイルです。

【ぎょうせいオンラインより】

